



第10回かごしまデータ科学シンポジウム in Kagoshima  
暫定プログラム (2026年05月25日版)

会期: 2026年06月28日(日)~30日(火)、会場: 鹿児島商工会議所ビル アイムホール  
参加費: 5,000円(非課税)情報交換会参加費: 5,000円

1日目 (2026年06月28日(日))

受付開始 (13:00~): 商工会議所ビル 4階アイムホール  
開会挨拶(13:55~) 米山昭成(株)新日本科学PPD

第1会場(4階A会場)

Session1a	Clinical Data Management 1	座長: 林 行和 (A2ヘルスケア株式会社)
14時00分~15時15分	(仮) GCP Renovationの動向	演者: 近藤秀宣 (A2ヘルスケア株式会社)
14:25~14:50	(仮) AIのRBMでの利活用	演者: 田中拓海 (ファイザー株式会社)
14:50~15:15	(仮) E6R3を絡めたDDFの話	演者: 林行和 (A2ヘルスケア株式会社)

第2会場(4階B会場)

Session1b	統計科学1	座長: 永久保太士 (日本イーライリリー (株))
14時00分~15時15分	解釈性と予測性能の両立を目指したSoft-structured Supervised Sparse PCAによる特徴分析とConformal Predictionに基づく臨床中後リハビリテーション予測	演者: 平野晋吾(1,2), 光武(2), 楢岡弘行(1), 川口淳(1), 増五よりい(病院), 2)慶賀大学
14:25~14:50	潜在アウトカムに基づく疾患リスクスコア: 重み付け推定について	演者: 大田美章・藤田寛・三枝祐輔・武田裕子・山本昌司(横浜国立大学)
14:50~15:15	非対称非類似度データに対する多次元展開法の拡張モデルについて	演者: 守屋亮平・谷岡健資・宿久洋 (同志社大学)

Session2a

Session2a	Clinical Data Management 2	座長: 林 行和 (A2ヘルスケア株式会社)
15時30分~16時45分	(仮) eSource概要・DDF・AI	演者: 西基秀 (Medidata Solutions株式会社)
15:55~16:20	(仮) eSourceの実例紹介	演者: 吉松充生 (株式会社新日本科学PPD)
16:20~16:45		

Session2b

Session2b	統計科学2	座長: 高瀬貴夫 (エーザイ株式会社)
15時30分~16時45分	閉検定手順に基づく画像解析法	演者: 川口淳(佐賀大学医学部)
15:55~16:20	医薬品情報媒体におけるEstimandの記載と解釈	演者: 五十川 直樹 (ユーシービージャパン株式会社)
16:20~16:45	A Dichotomized Copula Approach for Multi-Arm Principal Stratification Without Monotonicity Assumption	演者: 水間 浩太郎(1) 黒田 晋吾(1) 作井 将(1) 折原 準一(部2) 橋本 隆正(1) 1)武田薬品工業株式会社 2)東京医科大学

2日目 (2026年06月29日(月))

第1会場(4階A会場)

Session3a	CDISCとAI	座長: 吉田直記 (武田薬品工業(株))
9時00分~10時15分		
9:00~9:25	SDTMのチャットボットが欲しい - AI素人がツール開発をがんばってみた -	演者: 高原志津子 (福井大学)
9:25~9:50	生成AIをCDISC業務で使いこなすには - 実践に向けた活用方法と、AIに頼りすぎないための心得 -	演者: 浜野英哲 (CRSキューブAPAC株式会社)
9:50~10:15	Shiranui MCPによるCDISC StandardsとAIの融合	演者: 秋谷一平 (ICONクリニカルリサーチ合同会社)

第2会場(4階B会場)

Session3b	統計科学3	座長: 大江基貴 (アウヴィ合同会社)
9時00分~10時15分		
9:00~9:25	経時データ解析における欠測の非単調性について	演者: 丸尾和司(筑波大学)
9:25~9:50	残差行列に核ノルムを用いた多変量回帰と外れ値検出	演者: 土井駿・谷岡健資 (同志社大学)
9:50~10:15	Bagging/Random Subspace法に基づくアンサンブルABLE法の開発	演者: 李 雨龍(和歌山県立医科大学)

Session4a

Session4a	CDISCと企業	座長: 石田達文 (株式会社新日本科学PPD)
10時30分~11時45分		
10:30~10:55	そろそろSDTM Version上げませんか? - SDTM v 3.3, v3.4, define v2.1の実装 -	演者: 大塚広貴 (株式会社新日本科学PPD)
10:55~11:20	SDTMはどこまで変わるのか? - SDTM v3.0 / SDTMIG v4.0 Public Reviewから読み解く変更点と実務インパクト -	演者: 吉田直記 (武田薬品工業(株))
11:20~11:45	目指せ! m5フォルダデザイナー - Data Submission時の留意点 -	演者: 橋本千恵 (大塚製薬株式会社)

Session4b

Session4b	臨床薬理	座長: 及川伊知郎 (株式会社新日本科学PPD)
10時30分~11時50分		
10:30~11:10	変則的なノ工夫した早期臨床試験デザイン	演者: 吉次広如 (MSD株式会社)
11:10~11:50	臨床薬理の支えるValue Creationとは?	演者: 寺尾 公男 (中外製薬株式会社)

昼休憩 (11:50~13:30)

Session5a

Session5a	Open-Source Technology	座長: 森岡 裕 (イーピーエス株式会社)
13時30分~14時45分		
13:30~13:55	日本における臨床試験プログラミングのコミュニティとオープンソース活用について	演者: 森岡 裕 (イーピーエス株式会社)
13:55~14:20	オープンソースで拡張する統計解析業務エコシステム ~PharmaForestとSAS Package Frameworkの連携~	演者: 山野辺 浩己 (マルホ株式会社)
14:20~14:45	Rを用いたCSV対応の実践的アプローチと検証結果	演者: 魚田 孝志 (イーピーエス株式会社)

Session5b

Session5b	特別講演: スポーツ	座長: 梅田佳史(株式会社新日本PPD)
13時30分~14時30分		
13:30~14:30	プロスポーツで街は元気になる	演者: 有川久志(株式会社鹿児島レブナイズ)

Session6a

Session6a	承認申請を加速するeCTD・CDISC活用	座長: 米山昭成 (株式会社新日本科学PPD)
15時00分~16時15分		
15:00~15:25	申請電子データをeCTDに組み込む時代 ~ DS xROの連携 ~	演者: 木原 博幸(大塚製薬(株)薬事部 薬事テクノロジー&オペレーション室)・桐原 みらい(ノバルティスファーマ(株)開発本部 薬事 薬事オペレーション&プロセスエクセレンス)
15:25~16:15	中国でのCDISC申請について	演者: Long Fang(PPD China)

Session6b

Session6b	Artificial Intelligence	座長: 池田公俊 (アウヴィ合同会社)
15時00分~16時15分		
15:00~15:25	AIが賢くなるほど、私たちは何を問い、どう判断する?	演者: 深澤 恭子 (札幌医科大学)
15:25~15:50	RWD解析におけるAI活用PoC - 効率化と品質保証の設計	演者: 竹村昌彦(株式会社データック)
15:50~16:15	実践バイブコーディング-SASプログラマーがSAS以外の使い手になれるのか	演者: 山崎文寛 (武田薬品工業(株))

情報交換会 (18:00~) 会場: 吾愛人 天文館本店 (複数店舗あるのでご注意ください)

3日目(2026年06月30日(火))

第1会場(4階A会場)

Session7a	AI導入とGlobalにおけるMedical Writing	座長: 米山昭成(株式会社新日本科学PPD)
9時00分~10時00分		
9:00~10:00	AI-Powered Document Authoring in Clinical Research	
逐次通訳		演者: Abhishek Patil (PPD of thermofisher)

第2会場(4階B会場)

Session7b	疫学	座長: 伊藤ゆり(神戸大学大学院医学系研究科 未来社会医学専攻/領域 公衆衛生大学院)
9時00分~10時20分		
9:00~9:40	がんリスクの個人差をどう読み解くか: 分子疫学における交互作用・予測・予防	演者: 松尾恵太郎(愛知県がんセンター)
9:40~10:20	Beyond Big Data in Healthcare — AI協働で変わる臨床研究 —	演者: 相良安昭(相良病院)

Session8a	特別講演: GCP改正またはICHまたは薬事の話題	座長: 下川敏雄(和歌山県立医科大学)
10時30分~11時45分		
10:30~11:45	日本は変わるか? ~治験・臨床研究の構造改革~	
		演者: 山本洋一(大阪大学)

Session8b	Target Trial Emulationの理論と実践(仮)	座長: 片野田 耕太(国立がん研究センター)
10時30分~11時45分		
10:30~10:55	Target Trial Emulation: 観察研究からランダム化臨床試験を模倣する臨床研究の方法	演者: 野間久史(統計数理研究所)
10:55~11:20	Target Trial Emulationの実践: 透析患者におけるデノスマブ研究を例に	演者: 深澤 俊貴(京都大学 医学研究科 社会健康医学系専攻健康解析学講座 薬剤疫学)
11:20~11:45	Target Trial Emulationの実践例(仮)	演者: 森 雄一郎(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻)

閉会挨拶(11:50~) 下川敏雄(和歌山県立医科大学)